

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2022年度(令和4年度)第5回理事会議事録

1. 開催日時 2022年11月30日(火) 13:30-16:20
2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議
3. 出席者 理事数 20名
出席理事 15名 (定足数11名 会議成立)

4. 議長 理事 高橋 幸弘

5. 出席役員

理事 高橋 幸弘
理事 田近 英一
理事 サイモン・ウォリス
理事 小口 千明
理事 河宮 未知生
理事 堀 利栄
理事 阿部 なつ江
理事 大谷 栄治
理事 沖 理子
理事 川幡 穂高
理事 成瀬 元
理事 日比谷 紀之
理事 福山 繭子
理事 道林 克禎
理事 和田 浩二
監事 鈴木 善和
監事 春山 成子
監事 松本 淳

6. 出席オブザーバー

大気水圏科学セクションプレジデント	佐藤 薫
地球人間圏科学セクションバイスプレジデント	山野 博哉
固体地球科学セクションプレジデント	田中 聡

地球生命科学セクションプレジデント	掛川 武
地球生命科学セクションバイスプレジデント	黒柳 あずみ
情報システム委員会委員長	興野 純
環境災害対応委員会委員長	宮地 良典
ダイバーシティ推進委員会委員長	坂野井 和代
学協会長会議議長	巖網林

午後1時30分、定数に達したので高橋幸弘会長が開会を宣言した。インターネット会議システムZoomを利用し、審議において参加者全員が互いに適時的確な意見表明ができることを確認した。

7. 審議事項

第1号議案 新入会員承認の件

- ・定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議し、これを承認した。
- ・なお学協会長会議において学協会の情報の改訂が十分でない点があったため、今後改訂できるように検討する。

第2号議案 委員会委員承認の件

- ・新規委員の就任を審議し、これを承認した。また、広報普及委員会JGL編集小委員会、教育検討委員会大学及び大学院教育小委員会の委員の報告があった。

第3号議案 RDMタスクフォースの設置の件

- ・RDMタスクフォース(Research Data Management Task Force)の設置を審議し、これを承認した。

今後必要に応じて委員の増強を行う。

第4号議案 日本化学連合提言への賛同の件

- ・日本化学連合から依頼のあった、提言書「学協会に係る法人制度一運用の改善と弾力化について」への賛同と連名について審議した。学会名および会長名で参画することを承認した。

第5号議案 2022年度予算の追加申請について

- ・教育検討委員会より、教科書の購入費として12万円の追加予算の申請があった。記載された地学用語の差異などを調査し提言の作成などに活用している。審議し、これを承認した。保管場所について質問があり、今後検討することとした。

第6号議案 その他（テレワーク勤務規則改訂の件）

- ・道林理事より緊急動議があり、以下三件の審議を行った。
- ・テレワーク勤務規則の改訂について審議した。テレワーク勤務の場合、フレックスタイム制を廃止し定時勤務とするため、第9条を削除する。これを承認した。施行日は2023年2月1日とする。
- ・上記テレワーク勤務でのフレックスタイム制を廃止することに伴い、現在時給制になっている給与を改訂することを審議した。
- ・事務局職員に冬季賞与を支給することを審議しこれを承認した。

8. 報告事項

1. 高橋 幸弘代表理事 職務報告

- ・IUGG2027についてAGUのハワイ招致をJpGUとしてサポートすることとした。
- ・2023年大会でもMOU締結学会とのGreear debateセッションを開催する。今回はMOU締結学会以外の参加も検討する。
- ・フィリピン地質学会から招待があり、講演を行う。
- ・2023 JpGU大会で、防災学術連携体と共同でパブリックセッションを開催する。
- ・学協会の事務局維持に困難が生じているという声がいくつか寄せられており、JpGUが事務局機能をサポートする可能性について検討する。現状把握のため学協会にアンケートを行う。

2. 田近 英一理事（広報普及担当）職務報告

- ・11月5日サイエンスアゴラのイベント公開講演をおこなった。
- ・JGLを出版した。
- ・委員会の組織改編を行っている。次回の理事会で詳細を報告する。

3. ウォリス理事 職務報告

- ・AGU FALL MEETINGにブース出展を行う。現地参加者の方には協力をお願いしたい。
- 新たな連携セッションについて
- ・団体会員やMOU締結学会以外とも新たなカテゴリーでの連携セッションを予定している。国内国際それぞれに条件や承認プロセスを設定し、Agreementを交わす。
 - ・セッションとの関係について質問があった。セッションボードからの提案ができる。
 - ・団体会員に加入しなくても連携セッションが開催できるので、団体会員のメリットが不明瞭になるという指摘があった。団体会員は、JpGUが意見集約するコミュニティの一部であり大会全体を共催する立場であるという説明があった。一方、連携セッションの開催を期に団体会員加入の勧誘を行うのがよいという意見があった。
 - ・2023年大会ではJointly organized with the *** Society of ***として認められている。次

回理事会での審議プロセスで承認された後、International cooperative session with the *** Society of ***とセッションスコープを改訂する。

4. 小口 千明理事 職務報告

○キャリアエクスプローラロゴについて

・就職情報を求めている研究者が予稿や資料などに貼付してアピールすることを想定している。2023年大会で、希望者がダウンロードしたり会場で申し込むことで利用できるようにする。あらかじめマッチングフラグを設定する必要がある。

・注意事項として、ロゴの使用権はJpGUに帰属すること、口頭発表会場においてロゴに関する質問はご遠慮いただくこと、などの説明があった。希望者の募集は3月下旬以降を予定している。5月に大会参加サイトでロゴを公開し、その後希望者の予稿などで表示される。

・使用者の年齢制限は設定しない予定であるが、そのことはあえて表示しない。

・Confitのタイムテーブルのセッション欄にもロゴを掲載予定であるが、就職情報を求めているかどうかは個人に属する情報でありセッションとして掲示するのは違和感があるという指摘があり、検討することとした。

○阿部理事より関連の報告があった。

・AGUタスクチームのミーティングがあり、AGU Meetingで予定されているDEI関連セッションの一覧が紹介された。AGUが設置しているEthicsの窓口について情報を得たため、別途共有し参考にする。

・ユニオンセッションで複合災害についてのセッションを提案した。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

・スポンサー制度について検討している。次回の理事会で詳細を審議する。

6. 堀 利栄理事 職務報告

・特別荣誉フェローの新設について検討している。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

・これまで後援等報告したイベントについて報告があった。

・事業報告・事業計画作成の依頼を委員会・セクションに12月中に送るのでご協力お願いしたい

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

・決算予想について報告があった。決算は黒字の見込みであるが、本来の活動を停止したうえで大会経費についてかなりの無理をした結果のものであり、千葉からの補助金を受領した結果でもある。また2023年大会の会場拡充、本来必要な事務局強化、システムの更新な

どを考えると、黒字と言っても余裕がある状態ではない。

- ・予算作成依頼をお願いしている。締切り厳守でお願いしたい。
- ・メールニュース、WEBに寄附のお願いを掲載する予定である。用途を指定した寄附とすることを予定している。項目としては保育支援、学生支援、セクション支援を予定している。
- ・2019年当時のコロナ禍以前から2021年度までの、連合の財務分析をお願いしたいという質問があり、詳細を確認して報告することとした。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

- ・大会運営委員会活動状況について報告があった。
- ・セッション提案数は2022年大会とほぼ同数の231件であり、229件が採択された。
- ・開催方針として、昨年の方式を踏襲しつつも現地会場の充実を図ることが報告された。
- ・参加登録料として、一般25,000円（3,000円値上げ）、学生12,000円（1,000円値上げ）の提案があった。根拠として、展示場ホールを全日全面利用すること、特設会場の増設、ポスターボード等諸経費の増加、物価高騰リスクへの備え、将来のシステム改修・刷新に向けての準備の説明があった。
- ・将来的に、経費増加に対応するためには参加登録費は30,000円くらいになるという説明があった。ただしこれは参加登録費のみで賄うという前提であり、年会費増加も見込む方針も考えられるという指摘があった。
- ・大会期間は1週間とする。オンラインポスターは口頭発表と並行して行う。Confit上にポスターをアップロードすることをポスター発表の要件とする。ポスター発表者が現地およびオンラインポスターセッションにてポスター発表をすることはそれぞれ任意とする。ポスター発表者は原則として、口頭セッション内の指定された時間にフラッシュトークを実施していただく。
- ・大会までのスケジュールが示された。
- ・懇親会の開催に関して意見が問われた。現状としては実施の判断はできないという意見もあり、もう少し状況を見ることとなった。
- ・高校生セッションは、大半が現地参加発表でない限り、5月28日にオンライン発表と審査を行う可能性がある。
- ・コンビーナの意見集約について問い合わせがあり、意見集約の方法を検討している。一案として、アンケート調査の実施を検討している。
- ・メールでの情報発信について、迷惑に感じる参加者からの意見が多数届いている。そのため、ウェブサイトによる情報取得に徐々にシフトしメールでの案内は内容も配信数もコンパクトに（少なくとも2022年大会相当と）することを計画している。各委員会からのメールによる情報発信については、原則定期配信のメールニュースを活用すること。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

- ・今回は報告を省略した。

11. ダイバーシティ推進委員会活動報告

- ・坂野井ダイバーシティ推進委員会委員長よりダイバーシティ推進関連の報告があった。
- ・2023年大会においてパブリックセッションを提案した。
- ・若手育成WGのオンラインミーティングを10月21日に開催した。
- ・EGUにおけるダイバーシティ関連セッションの発表者を検討している。
- ・顕彰等のジェンダーバランスについて意見交換を行った。委員を新規に迎え入れることとなった。

12. 教育検討委員会活動報告（阿部担当理事）

- ・阿部理事より活動報告があった。アースサイエンスウィーク・ジャパンの活動報告があった。10月に開催した4件のイベントの報告があった。WEBでも情報発信をしている旨報告があった。

13. 環境災害対応委員会報告（沖担当理事）

- ・宮地委員長から活動報告があった。委員募集について、メールニュースやセクションへの依頼等を検討している。

14. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

- ・今回は報告を省略した。

15. ジャーナル関連活動報告（倉本担当理事）

- ・倉本理事より活動報告があった。
- ・ジャーナル関連の活動報告があった。投稿・編集・出版は順調に推移している。
- ・SPEPS では、“10 years after the 2011 Tohoku earthquake: A milestone of solid earth science” への投稿が順調で、新たに “Water-carbon cycles and terrestrial changes in the Arctic and subarctic regions” の投稿受付を開始した。

16. 顕彰委員会活動報告（川幡担当理事）

- ・川幡理事より活動報告があった。

○寄附者に対する謝意の表明について

- ・寄附者に対して謝意の表明をより明確に掲示することを検討している。ホームページでもわかりやすく表示する。
- ・高額寄附者について、表彰式にて賞状を渡すこと、一定以上の金額の寄附者に、大会時に「御礼ラウンジ」を提供することを検討している。

・特に反対意見はなく、了承された。

○名誉フェロー（仮）の新設について

・名誉フェロー（仮）の新設について検討している。名称や予算等を検討している。

日本地球惑星科学連合 特別名誉フェロー（JpGU Honorary Fellow）、日本地球惑星科学連合 フェロー（JpGU Fellow）などの案がある。

○国際貢献賞（仮）の新設について

・国際貢献賞（仮）の新設について検討している。他にも委員会・セクションの賞を顕彰委員会で受け入れることを検討している。

○フェロー制度の改善について

・フェロー制度の改善について検討しているが、改悪となるおそれもあるので慎重に考えている。規則そのものを改訂するのではなく、補足事項を追加して顕彰の趣旨などがきちんと伝わるような方法で対処することも考えている。

○審査委員の選出について

・各賞審査委員の選出の方針について説明があった。

・各科学セクションに関係した深い知識を有するという観点より、各セクションより約1名を選考委員として依頼する。ただし、審査委員は自分の属するセクションに関係した候補を強く推薦するために依頼されているのではない。委員は、「地球惑星科学を専門とする優秀な科学者」として候補者選考任務に携わることが期待されている。

・フェロー選考委員会に関して、フェローおよび 西田賞受賞者からも選考委員を依頼する。

・西田賞選考委員会に関して、西田賞受賞者からも選考委員を依頼する。

・両選考委員会に関して、ダイバーシティなどにも十分考慮して、選考委員を依頼する。

17. セクションからの報告

・宇宙惑星科学セクションからの報告を予定していたが、今回は省略する。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した（16時20分）。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2022年11月30日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第5回理事会

出席理事 高橋 幸弘 印

出席理事	田近	英一	印
出席理事	サイモン・ウォリス		印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	堀	利栄	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	大谷	栄治	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	和田	浩二	印
出席監事	鈴木	善和	印
出席監事	春山	成子	印